

各種技法を修得して商品企画やプラン立案に強くなる**基礎コース**

## 『企画のたて方・企画書の書き方』

### [ 1 ] 研修の項目

「商品企画」「事業企画」「販促企画」「提案書」などの企画書作成は、個人の能力や経験に負うところが大きい、レベルの高い難しい作業です。

そのため企画力を高めるための解説書も出されていますが、精神的な心構えを説く「べき論」的な内容に終始して、実用的なものは多くはありませんでした。

そこで今回、企画書作成の手順を理解しその中で使う各種の技法を修得し、企画の立て方と企画書の書き方を学ぶ企画基礎コースを開講します。講習では全部で62技法を解説し、154例を紹介します。その中でも直接企画をたてる部分は、M社の方法8技法を説明します。

#### 1 企画とは

企画の種類と定義  
商品・歴史に見る企画力 (8例)



#### 2 企画の考え方

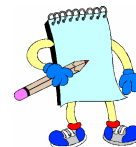
企画の8要素  
(調査・分析・予測・マーケティング・発想・企画・評価・表現)  
企画に参考になる格言 (18例)  
戦略・戦術について

#### 3 企画のための技法

「調査」の考え方と技法	(27技法)
「分析」の考え方と技法	(3技法)
「予測」の考え方と技法	(5技法)
「マーケティング」技法	(79事例)
「発想」の考え方と技法	(12技法)
「企画」の考え方と技法	(49事例)
「M社等の企画」技法	(8技法)
「評価」の考え方と技法	(4技法)
「表現」の考え方と技法	(3技法)

#### 4 企画力演習

演習(10題)



講師後藤国彦 企業で研究開発・新商品企画・コンピュータ事業・教育などを担当、現在『創造性発揮』『技術文章の書き方』『企画力向上』『創造性を用いた課題解決』『技術者のマーケティング』『コンピュータ知識』『新人技術研修』などのコース開発と講師、大阪府出身、大阪大学工学部卒、著書に『技術文章の書き方』(日刊工業新聞社)、『知的発想の方法』(日本実業出版社)、『V E A M法』(日本V E 協会・共著)、主な論文に『日本で最初にコンピュータを創った男』『コンピュータ動向』など多数 Email : ran-ikki@mbox.kyoto-inet.or.jp、懸賞もあるHPは、<http://www.geocities.co.jp/Technopolis-Mars/7088/>